

FD 研修会 参加報告書

2008 年 8 月 11 日

教務部長／法学部教授

池田秀彦

セミナー名：平成 20 年度教育改革 FD/IT 理事長・学長等会議

日時： 2008 年 8 月 7 日（木）13：15～18：10

会場： 日本大学会館 大講堂

主催： 私立大学情報教育協会

本年 4 月から義務化された学部 FD への関心の高まりを反映して、大変な盛況で 200 名を
超す参加者があった。

このセミナーでは、戸高敏之氏(私立大学情報教育協会会長)の挨拶、会場校の日本大学総
長・理事長の小嶋勝衛氏の挨拶に続き、①鈴木敏之氏(元文部科学省高等教育政策室長・東
京大学本部統括長)の基調講演「中央審議会での学士課程教育の構築について」、②濱名篤関
西国際大学理事長・学長の講演「初年次教育における大学戦略と課題」、③加藤かおり新潟
大学大学教育開発研究センター准教授の講演「欧州等における大学教員に求められる教育
力」、④全体討議「大学、国、社会連携による学士力強化の可能性を考える」があり、最後
に関連情報提供として「私立大学教員による授業改善調査の結果」「教育の情報化投資の実
態」「著作権手続きネットワーク代行業業」について説明が行われた。

①では、近々に答申予定の「学士課程教育の構築に向けて」についてこれまでの経緯を
含め、全体を俯瞰する話があった。

②では、大学全入時代における大学教育の今日的課題(ユニバーサル化による学生の多様
化、学習しない学生等)を踏まえ、高大接続のシステムの見直し、学生個人の能力に応じた
初年次教育の実効を高める教育学習支援対策、学習到達度を点検するポートフォリオの活
用等について情熱あふれる説明があった。

③では、大学としての教育力の向上を図る上で、その基本となるのは教員一人一人の教
育力の向上であるという観点から、教員に求められる能力について、欧州での考え方、そ
の向上のための取組について紹介があり、それを日本の大学に導入する上で考慮すべき点
について話があった。

④では、椎名市郎中央学院大学学長による問題提起(学問分野における到達目標、学習到
達測定)の大学連携、社会現場からの学びの動機付け、社会人専門家による授業支援などの
産学官連携による教育システムの模索)後に、意見交換が行われた。

いずれも時間の制約があるため、概括的な説明が中心になり、具体的な事例、取組みに
ついてまでは話しが及ばなかったが、極めて有益な講演であったことは間違いない。